



出張報告届

令和8年1月7日

吹田市議会議長様

会派名 立憲民主党

代表者氏名 西岡 友和

出張者氏名 西岡 友和

下記のとおり出張したので届け出ます。

記

出張先	京都JAビル 〒601-8585 京都市南区東九条西山王町1
期間	令和8年12月27日から12月27日まで1日間
出張の成果	別紙のとおり
備考	12/27(土) 10:00~12:30 杉本講師 「初動」で決まる信頼と影響力

～「初動で決まる信頼と影響力」～

令和7年12月27日

西岡 友和

本研修は令和7年12月19日に受講し、地方議員の実務に即した極めて有益な内容であったことから、理解をさらに深めるべく、同月27日に京都にて開催された同様の研修に改めて参加した。

本研修は、議員活動における「初動」が、信頼の獲得、評価の固定化、さらには政策実現力に直結するという前提に立ち、有権者対応、行政職員との記録・連携、議会内での立ち位置という複数の局面における行動の質を高めることを主眼として構成された。政治学・組織論・リスクマネジメントの観点から、議員の行動がどのように評価・記憶され、制度内で機能するかを分析的に整理した内容であった。

初回受講時には「初動」の重要性を理論として理解するにとどまったが、再受講においては12月19日以降の自らの議員活動における具体的な場面を振り返りながら講義を聴くことができた。特に、市民相談や苦情対応における「即答しない勇気」と「即応する誠実さ」の両立という点については、実際の市民対応の場面に照らし合わせることで、「受理・調査・回答のプロセスを明確に示す」姿勢が、市民との信頼関係を構築する根幹であることをより深く確信した。

また、議会内では発言内容以前に「準備している議員かどうか」が初動で見抜かれるという指摘は、二度目の受講でより強く意識に刻まれた。感情論ではなく構造的に話す姿勢は継続的な実践によって初めて習慣化されるものであり、日常の議会活動に結びつける意識がさらに高まった。

本研修を通じ、議員活動における信頼や影響力は演説力や知名度よりも、日常の初動行動の積み重ねによって形成されることを改めて認識した。「正確さ」「記録」「手続き」を軽視しない姿勢こそが長期的に政治的自由度を高めるという指摘を、今後の吹田市政における議会質問および市民対応の実践に着実に活かしていきたい。

以上